

# 政策シート (政策名) 消防団の防災体制の充実

(予算費目名) 消防団費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

## ◇政策の概要

地域の火災等の災害に迅速・柔軟に対応できる消防団の防災体制の充実に向け、消防団施設の建設に係る準備や維持管理及び消防団員の活動の安全性を向上させる装備等の拡充並びに活動環境の向上を図る。

## ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	469,254	454,907	583,816	611,590
決算	438,488	425,870	548,276	
人件費(A)	35,200	35,200	35,200	35,200
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	473,688	461,070	583,476	646,790

## ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
公務災害発生件数の改善率(過去5年の 最多発生件数9件からの改善率)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	66.6	66.6	88.9	
女性消防団員数	人	70	目標	13	20	30	45
			実績	13	20	38	
消防団協力事業所数	事業所	100	目標	61	71	82	100
			実績	67	74	91	

## ◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

地域の火災等の災害に迅速・柔軟に対応できる消防団の防災体制の充実に向け、消防団施設の建設に係る準備や維持管理及び消防団員の活動の安全性を向上させる装備等の拡充並びに活動環境の向上を図った。

## ◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・訓練や研修を実施し公務災害の防止に努めた。改善率100%を達成できなかったものの、訓練や研修の効果が表れ平成23年度の公務災害発生件数9件と比較し8件減少した。
- ・女性消防団員の入団促進事業の効果により18人が増員した。
- ・消防団員に対する公務災害補償等の充実等により、事業所の理解が得られ消防団協力事業所が17事業所増加した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	消防団活動事業			○		292,765	287,165	0.8			
2	消防団施設運営事業			○		151,317	147,117	0.6			
3	消防団員福利厚生事業					173,247	169,047	0.6			
4	消防団運営経費					29,461	8,261	2.0	2.0		
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						646,790	611,590	4.0	2.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 消防団活動事業

## ◇事業目的・事業対象

消防団活動に対し、必要な費用の支出や被服の貸与を行い、消防団員の安全な活動を推進するとともに、消防団員の士気高揚と活動への市民の理解を深めることを目的とする。

## ◇事業の概要

- ・消防団員出動等活動事業  
消防団員の災害出動等の活動に対し費用弁償を行う。
- ・消防団運営管理等交付事業(交付金)  
消防団の円滑な運営管理を図るため消防団に対し、運営に要する経費を交付する。
- ・消防団員被服整備事業  
消防団員の活動上必要な被服及び付属品を消防団の基準に基づき貸与し、消防団員の活動の安全性向上を図る。
- ・出初式開催事業  
新年の消防演習として、消防装備、訓練等を市民に披露することで、消防活動及び防火防災についての理解を得るとともに消防職員及び消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙げるもの  
また、式典にて優良な消防分団及び消防団員に対し表彰を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S23	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防団に関する条例	-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	283,666	265,052	282,408	287,165
	決算	268,501	259,294	276,255	
	国・県支出		6,030	8,431	10,481
	市債				
	その他	3,231		75	54
	一般財源	265,270	253,264	267,749	276,630
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等)(千円)					
人件費(千円)		5,600	5,600	5,600	5,600
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.8
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
公務災害発生件数の改善率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	66.6	66.6	88.9			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

### ◇平成29年度の事業評価

#### ・平成29年度の事業の概要

- ・消防団員出動等活動事業  
消防団員の災害出動等の活動に対し費用弁償を行った。
- ・消防団運営管理等交付事業(交付金)  
消防団の円滑な運営管理を図るため消防団に対し、運営に要する経費を交付した。
- ・消防団員被服整備事業  
消防団員の活動上必要な被服及び付属品を消防団の基準に基づき貸与し、消防団員の活動の安全性向上を図った。
- ・出初式開催事業  
新年の消防演習として、消防装備、訓練等を市民に披露することで、消防活動及び防火防災についての理解を得るとともに消防職員及び消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙行了した。  
また、式典にて優良な消防分団及び消防団員に対し表彰を行った。

#### ・事業の成果と課題

##### 指標の達成度

- ・訓練や研修を実施し公務災害防止に努めた。改善率100%を達成できなかったものの、訓練や研修の効果が表れ平成23年度の公務災害発生件数9件と比較し8件減少した。
- ・災害出動及び訓練出動した消防団員に対し、費用弁償を適正に支給した。
- ・各支団、分団等に対し交付金を交付し、円滑な消防団運営を図った。交付対象:団本部×1、ラッパ隊×1、支団本部×7、分団×79
- ・消防団員の活動の安全性向上のため、新基準の活動服をはじめ各種装備を配備の基準に基づき整備した。(活動服723着ほか)
- ・出初式を開催し、市民に対し消防の現勢を披露し理解を得るとともに、消防職団員の士気高揚を図った。

#### ・事業の見直し

##### 実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・消防団員の安全な災害活動や大規模災害時下の消防団の活動範囲の拡充などを見据えた浜松市消防団充実強化計画に基づく教育隊を創設し、教育隊が消防署員から技術指導を受けた。

##### 今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・今後、教育隊が各分団員に対して救助技術や応急救護技術の指導を展開していく。

## 事業シート (事業名) 消防団施設運営事業

### ◇事業目的・事業対象

老朽化や耐震性の劣る分団庁舎の建替えや改修を行うとともに、消防団活動用の資機材整備を行い、地域の消防防災拠点として充実強化を図ることを目的とする。

### ◇事業の概要

- ・消防団施設維持管理事業  
消防団施設を適切に維持管理し、災害発生時の即時対応体制を保持する。
- ・消防団庁舎整備事業  
消防団施設の老朽化や耐震性能不足を解消するため、計画的に改修・改築工事を実施し、地域防災拠点としての整備及び施設環境の改善を図る。また、女性消防団員の活動環境の整備を図る。
- ・消防団資機材整備事業  
消防団活動上必要な資機材等を更新する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S23	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	-	-	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	15,227	25,392	134,533	147,117
	決算	15,063	25,182	133,784	
	国・県支出		1,615	24,948	36,446
	市債		3,600	65,200	
	その他			7	
	一般財源	15,063	19,967	43,629	110,671
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		4,200	4,200	4,200	4,200
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.6
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
女性消防団員の活動に配慮した消防団施設の数(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値		15	16	18		22
実績値	14	15	16			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・消防団施設維持管理事業  
消防団施設を適切に維持管理し、災害発生時の即時対応体制を保持した。

・消防団庁舎整備事業  
消防団施設の老朽化や耐震性能不足を解消するため、計画的に改修・改築工事を実施し、地域防災拠点としての整備及び施設環境の改善を図った。また分団庁舎の改築に併せて女性団員の活動に配慮した活動環境を整備した。

・消防団資機材整備事業  
浜松市消防団充実強化計画に基づき、新たに救出・救護用資機材を整備するとともに、消防団活動上必要な資機材等を更新した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・消防団施設維持管理事業  
消防分団施設を適切に維持し、災害発生時の即時対応に支障のないよう施設運営を行った。(浜北第5分団庁舎雨樋修繕工事他)

・消防団庁舎整備事業  
老朽化や耐震性能不足を解消するため浜松第17分団庁舎の建築工事等を実施した。  
老朽化した分団施設の改修を行い、地域防災拠点としての整備及び庁舎環境の改善を図った。(佐久間第2分団舟戸消防会館修繕工事他)

・消防団資機材整備事業  
各分団等に対し救出・救護用資機材(チェーンソー等)を整備したほか、各分団の消防資機材(消火活動用ホース)を更新した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・施設維持管理事業、庁舎整備事業による庁舎の改修工事等を行ったことで、長寿命化を図った。

・消防団資機材整備事業について、浜松市消防団充実強化計画に基づき救出・救護用資機材の整備を開始した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

【収集・分析】施設の改修改築、耐震化、借地解消等の問題改善のため、長期的な視野で情報を分析・検討する。

【改修・更新】施設維持管理事業、庁舎整備事業による庁舎の改修工事等を行うことで長寿命化を図るとともに、女性団員へ配慮した環境整備を実施する。・消防団資機材整備事業について、浜松市消防団充実強化計画に基づき、引き続き救出・救護用資機材の整備を進める。

## 事業シート (事業名) 消防団員福利厚生事業

### ◇事業目的・事業対象

地域防災の要である消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対応し、十分な補償を確保し職務に専念できるようにすることを目的とする。

### ◇事業の概要

- ・消防団員退職報償金支給事業  
退職した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給する。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業  
災害活動において死亡した消防団員と遺族に対する賞じゅつ金及び休業補償支給者のうち7日以上休業した消防団員に対して見舞金を支払う。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業  
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30	-	一般会計	自治事務(法令義務)	浜松市消防団員等公務災害補償条例他	-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	161,573	153,819	157,805	169,047
	決算	146,438	131,074	129,673	
	国・県支出				
	市債				
	その他	64,128	49,533	48,254	83,205
	一般財源	82,310	81,541	81,419	85,842
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		4,200	4,200	4,200	4,200
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.6
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
消防団協力事業所数(事業所)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	61	71	82	100		100
実績値	67	74	91			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						



◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・消防団員福利厚生事業  
消防団協力事業所表示制度の広報活動を実施した。
- ・消防団員退職報償金支給事業  
退職した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給した。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業  
賞じゅつ金及び見舞金の支給対象となる事案はなかった。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業  
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保した。

・事業の成果と課題

- 指標の達成度
- ・広報展開により事業所の理解が広がったと考えられ、消防団協力事業所が17事業所増加した。
  - ・消防団員退職報償金支給事業  
消防団員等公務災害補償等共済基金への加入率100%を達成し、退団した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給した。
  - ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業  
賞じゅつ金及び見舞金の支給対象となる事案の発生はなかった。
  - ・消防団員等公務災害補償等共済事業  
日本消防協会消防団員福祉共済に継続して加入した。

・事業の見直し

- 実施結果  
大項目  小項目  /  事業費  人工
- ・消防団協力事業所表示制度についての広報活動を実施した。
  - ・退団した消防団員への退職報償金の支給を実施した。
- 今後の方向性  
大項目  小項目  /  事業費  人工
- ・消防団員の活動環境の向上のため、消防団協力事業所表示制度を継続していく。
  - ・消防団員の福利厚生事業は、消防団員が憂いなく災害活動を行うための制度であり、今後も継続していく。



# 事業シート (事業名) 消防団運営経費

## ◇事業目的・事業対象

継続的な消防団運営体制の確保のため、従来の働き盛り世代の男性のみならず女性や若者に対する加入促進活動を展開し消防団員数の充実を図る。また、消防団運営に必要な訓練会場の借上、消耗品の購入(装備品等)、郵便料等に係る経費を確保し、円滑な活動を行うことを目的とする。

## ◇事業の概要

将来にわたる継続的な消防団運営体制の確保のため、消防団員加入促進活動を実施する。とくに、従来の働き盛り世代の男性のみならず、女性や若者に対する加入促進活動も展開する。  
 また、消防団の運営に必要な消耗品の購入等を行う。  
 ・消防団活動に必要な消耗品等の購入に係る経費  
 装備品等の購入  
 ・静岡県消防協会西遠支部負担金  
 県下消防団が連携し消防知識技術の向上を図り、消防活動の充実強化等を図る。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S23	-	一般会計	自治事務(法令事務)	浜松市消防団に関する条例	-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	8,788	10,644	9,070	8,261
	決算	8,486	10,320	8,564	
	国・県支出		2,446		
	市債				
	その他				
	一般財源	8,486	7,874	8,564	8,261
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		21,200	21,200	21,200	21,200
人工	正規	2.0	2.0	2.0	2.0
	再任用(h31)	2.0	2.0	2.0	2.0
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
女性消防団員数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	13	20	30	45		70
実績値	13	20	38			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・女性や若者の消防団への加入促進のため、大学や地域でのイベント、成人式等において入団促進事業を実施した。  
・消防団加入促進のため、消防団活動を広く市民へPRする手法として公式FaceBookの運用を開始した。  
・消防団の運営に必要な装備品等の消耗品を購入した。  
・静岡県消防協会西遠支部負担金  
同団体が主催する研修会等に消防団員が参加した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・女性消防団員の入団促進事業の効果により18人が入団した。  
・消防団活動に必要な消耗品等の購入に係る経費について、装備品等を購入した。  
・静岡県消防協会西遠支部負担金については、同団体が主催する研修会等への参加を通じて、消防団員が消防技術等を習得・習熟し、もって浜松市の災害対応能力の向上を図った。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・新たに公式Facebookの運用を開始したことや、昨年度から継続しているイベント会場等における広報活動が効を奏し、多くの女性が消防団に加入したものとする。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・女性や若者を対象とした消防団への入団促進を引き続き展開していく。